

桜の小枝染め 3年生

3年生の桜の小枝染めは、作品展を終えてホッとひと息ついていた3月に
始まりました

<手紡ぎサークル3年生からの自習報告です>

はじめに

ヒコバエの小枝を花が咲く前の時期に採取して、3年の活動が始まったら一番にとりかか
る予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延で、それぞれが小枝を自宅に持ち帰ることに

染色に当たっては、事前の打ち合わせをグループLINEのテレビ電話で行い
各自が自宅で作業に取り組みました

小枝採取 2020/ 3/ 5



小枝裁断 2020/ 3/13



裁断した小枝を水に浸け置く

活動開始を心待ちしながら
水は概ね2~3日
暑くなってからは臭えば
毎日入れ替えました

(次頁に続く)

7月末 友の会 **活動休止** 決定

採取した小枝を無駄にするのは忍びなく
それぞれ自宅で染めることにしました

染液作り 2020/ 8/ 6

液の色味や濁り具合を確認するために各自サンプルをとりました



(次頁に続く)

染色したのは、3種類の繊維

- ◆羊毛（コリデール）
- ◆キャリア（シルクウールを作るための短い絹の繊維）
- ◆袋真綿

染め上がり 乾燥すると、色は繊維の種類で異なります



染色を終えて冷ましている

- ・キャリア（洗濯ネットに入っている）
- ・袋真綿

左は袋真綿
右はキャリア



左上・左下はキャリア
右上が袋真綿
右下が羊毛(ブルーフェイス)

（次頁に続く）

双糸に紡いだ羊毛（コリデール）



新型コロナウイルスのためにサークル活動が休止となり
それぞれが家で手持ちの調理器具などを使って
「工夫」と「忍耐」の作業になりました

でも 桜の小枝は 春先にこんなことになるとは思わず
採取した私たちの期待にあって まさに桜色に染め上げてくれました

＜手紡ぎサークル3年＞